

「中部国際空港における研修」を実施しました

令和 8 年 9 月 27 日(日)28 日(月)

9 月 27 日(日)から 28 日(月)まで、本校主催の「中部国際空港における研修」を実施しました。

希望者から選抜された高校生 15 名、附属中学校生 4 名、合計 19 名の生徒が 1 泊 2 日で参加しました。これ以外にも 9 月 27 日(日)の空港島内のバス見学のみ参加する生徒 7 名と本校の OBOG の大学生(TSS:津島高校・サポーター・システム)2 名、さらに 2 日間生徒を引率した教員 5 名の計 33 名が参加しました。

今回の研修は、修学旅行などとは違い、「空港に関する研修を受けてみたい」という思いをもった生徒が、最初は全く知らない生徒どうしであり

ながら、4 回の事前打ち合わせでそれぞれの役割を決めました。渡辺様(右)と水野様(左) ↑

また、研修当日の食事や宿泊をとおして徐々に打ち解けていき、最終的には探究的な学びのグループによる発表につなげるという難易度としてはかなり高い研修でした。

今回は附属中学校 1, 2 年生と高校 1, 2, 3 年生の全 5 学年が泊を伴いながら一緒に行く、中高一貫校開校以来、初めての行事となりました。



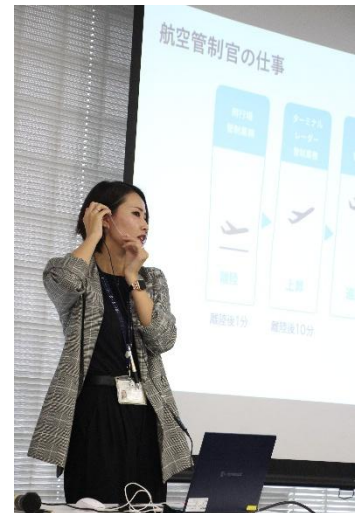
TSS の横田兄妹 ↑

初日は10時に中部国際空港前に集合しました。そこで早速のサプライズ!ちょうどアジア大会真っ盛りの時期で、多くの外国人が空港に集まっていたのです。空港近くの会場では、e-スポーツの競技が開催されていて、それを観覧する人も含めて「国際空港」らしい雰囲気が、充満していました。この雰囲気が、今回の本校の研修をしっかりと受け入れてくれているように感じました。

研修会場に移動後、最初に航空管制官の野村美有様から講話をいただきました。

1時間の講話内で、生徒達が事前に送った質問に答えながら、航空管制官の仕事の大変さややりがいについて、詳細に教えていただきました。研修後も追加の質問に答えていただけるほど、講師の野村様には生徒に対して、正面から向き合っていただけました。

野村様→



講話の後、各班で決めた店舗で、グループでまとまって昼食をとりました。今回の研修では、食事の場面も空港業務を知るための研修の時間として位置づけました。同時に、食事を重ねていくことで、生徒達の関係がほぐれていくことも目的としていました。



午後からは、ここだけの参加者も含めて「セントレアまるわかりツアー+給油施設見学」に全員で参加しました。さらにこのツアーには、ご援助いただいている「心豊かな社会をつくるための子ども教育財団」代表理事の豊田敬子様にもご参加いただきました。

ツアーの最初はセキュリティーチェックでした。普段は



入ることができない滑走路内に入るため、厳重な 3 重のチェックを受けた後、指定のバスに乗り込みました。

滑走路前のゲートで再度セキュリティチェックを受けた後、滑走路に入りました。滑走路上で



働いている方や働く車、災害時に活躍するレスキュー車など普段間近で見ることができないものを見ることができました。滑走路上で

働いているスタッフの方々が、バスから手を振っている自分たちに気づき、手を振り返してくれたこともありました。



このツアーのクライマックスは、滑走路から約 100m 離れたところから見る飛行機の離着陸でした。約 2~3 分に 1 度、航空機の離着陸を見ることができ、その都度、見学している私達はその迫力に圧倒さ



れました。案内をしていただいた方のアナウンスの巧みさも相まって、大変盛り上がった取組になりました（全体写真はこのページの最後にあります）。

案内していただいた稲場様→

その後、建物内に戻り中部国際空港会社の渡辺吉章様による、中部国際空港に関する講話をいただきました。



地域で唯一の国際空港として、中部国際空港が果たしている役割や利用者の推移、収益の変遷

や今後も目標など多岐にわたるお話をいただきました。



講話の後、居残って講話を聴いていた空港関係の業務に関心がある3年生の生徒達が、講師の渡辺様にさまざまな質問して、渡辺様から自分たちのキャリア実現に向けたアドバイスをいただいていたのが印象的でした。

初日の最後には、1日目に行った「セントレアまるわかりツアー」の修了証を全員に渡しました。

1日目の研修が終わり、その後、宿泊先のホテルに移動しました。そこでもサプライズ!!ホテルのフロントは各国の選手がそれぞれの国のジャージ姿でたくさん集まっており、まさにアジア大会真っ盛りを実感できました。



1日目の研修が終わり、その後、宿泊先のホテル

に移動しました。そこでもサプライズ!!ホテルのフロントは各国の選手がそれぞれの国のジャージ姿でたくさん集まっており、まさにアジア大会真っ盛りを実感できました。

その後、生徒達は夜の中部国際空港の雰囲気を見学しつつ夕食をとり、初日の研修を終えました。

2日目の朝は、アジア大会参加者と食事がバツティングしないように7時までに食事会場に集合しました。全員元気な表情で集まっていて、安心しました。

生徒達は朝食後に朝の中部国際空港の様子を見学しました。アジア大会の選手団をお出迎えする方、ホテルから第1ターミナルまでバスで送る方、空港カウンターで働く方、ショップの店員さんなど、早朝から働く方たちの様子を見学しました。

2日目の研修は10時30分から、空港の特別待合室で行いました。

ここでは合同会社 Uni-One の室園幸志代表による「探究的学習」を終日行いました。午前中は、「空港の課題を探究し、解決策を考える」をテーマにグループ活動を行いました。午後は、「グループワークで、今回の研修を振り返り、最終的に個人の振り返りに落とし込む」をテーマにプレゼンテーションまで行いました。各班には、大学生のメンターが各1名つき、生徒たちの議論のかじ取りをしてくれました。



た。本校から TSS として参加した2名も、同社の事前の

合同会社 Uni-One 代表 室園様 ↑

研修を受けたうえでメンターとして活躍してくれました。



この時の詳細は、同社による記録 note (▼問いから未来をつくる——中部国際空港で実施した、愛知県立津島高等学校・附属中学校の探究学習

↑ ファシリテーター 額田様

URL:https://note.com/Uni-One_futurelab/n/nc0b238713ea7) に掲載されています。生

徒たちが2日間の活動を通じて、個からチームになり、自分たちの課題に対する仮説をたて、課題解決の方策を全員で考えていき、その過程でチームがさらに一つになっていくのが、手に取るように感じられた意義深い「探究的学習」となりました。



最後は、教員チームも含め5チームから中部国際空港会社への提案を行いました。発表に参加し

た全ての人の充実した表情がとても印象的でした。



← ↑ 各班の取組の様子。皆さん真剣です。

解散式では、中部国際空港会社の方と Uni-One の方達に代表の生徒からお礼の言葉がありました。そこで最後のサプライズ!!! 生徒達から講師の方だけでなく、この研修を準備・実施してくれた先生方へも感謝の気持ちが述べられました。つくづくこの研修を実施してよかったと感じた瞬間でした。

その後、参加した生徒達は、校長先生から2日間の本研修の修了証

をもらって研修を締めくくりました。



↑ ご協力いただいた方たちにお礼を伝える代表生徒

今回の研修は「心豊かな社会作るための子ども教育財団」に援助をいただき、構想から足掛け4年を経て実施した研修です。それ以外にも中部国際空港会社、合同会社 Uni-One など多くの

方々にご協力いただいて無事終わることができました。今後も津島高校は、生徒達の「知りたい、学びたい」を大切に、探究学習の充実をすすめてまいります。ご期待ください。



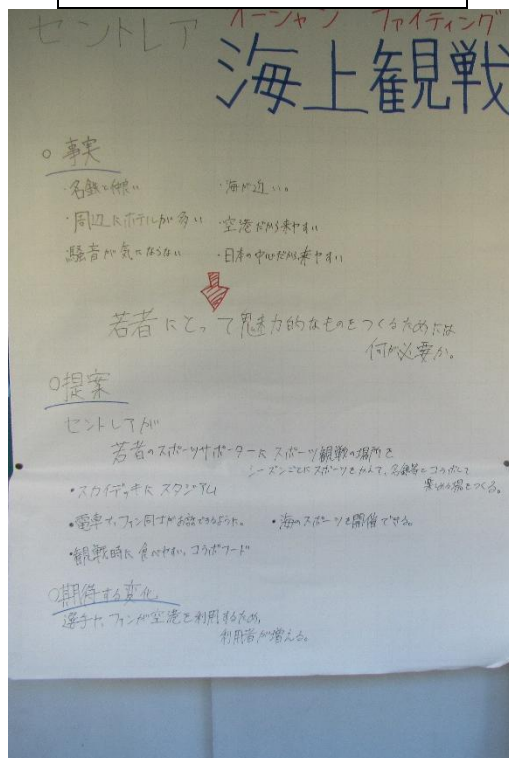
提案をする森田先生 ↑



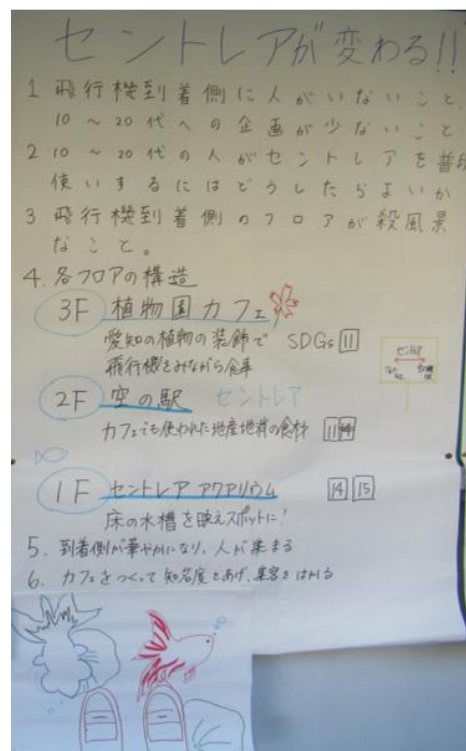
↑「セントレアまるわかりツアー」で撮影した全体集合写真。テイクオフの瞬間です。

各班の成果物:

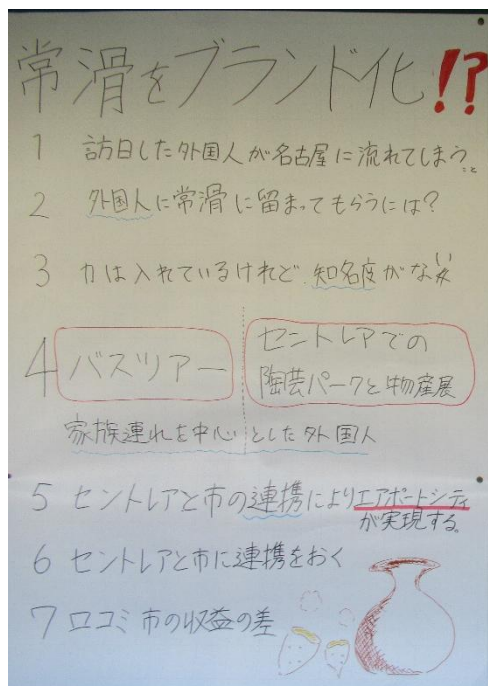
1班:チーム「ねこ×3 イヌ×2」



2班:チーム「モリゾー」



3班:チーム「食い意地」



4班:チーム「優柔不断」

